

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校英語活動の推進				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	193	計画事業名	児童生徒の学力向上			
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (2)子どもが、自らたくましく生きられる教育の推進					[事業開始]	平成 2 0 年度	
		[施 策] ①個性を生かす学校教育の充実 [68]					[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	その他	[法令等名]	要綱等なし					
	事業対象	区立小学校の全学年の児童							
	事業目的	生きた英語の取得ならびに早くからの国際感覚及びコミュニケーション能力を養い、個性的で豊かな人材を育成する。							
	事業内容	外国人英語指導助手を全小学校へ派遣し、児童の英語活用能力及び国際理解の資質の向上を図る。 年間の授業予定時間数は、低学年17時間、中学年25時間、高学年35時間。							
委託の有無	一部委託	委託内容	外国人英語指導員の配置業務委託						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	講師派遣日数	(日)	1,080	1,213	1,258	1,075		
		対象児童数	(人)	6,300	6,382	6,256	6,339		
	決算額 (単位：千円)				29,322	27,873	23,937		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			270	250	426		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			29,322	27,873	23,938		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			29,592	28,123	24,364		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
一般財源 (区負担額)			29,592	28,123	24,364				
前年度から改善した事項	より学校の要望に沿って英語教育を実施できるよう、各校において作成した授業計画に基づき外国人英語指導助手が指導を行っている。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	児童が早期から英語と触れ合うことで英語への抵抗感を減らし、国際感覚も養われるため、中学校へも円滑に移行することができる。小学校での外国語活動が必修化されていることから、必要性は高い。						
	効率性	3	外国人英語指導員の配置業務委託し人材を確保している。コストに見合った効果が得られている。						
	手段の適切性	3	他自治体においても委託を受けており、英語指導におけるノウハウを有する民間業者へ委託することにより、適切な英語指導が実施できている。						
	目的達成度	3	本事業の対象者である区内小学校児童数は、若干変動しているが目標は達成されている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
今後も小学校での外国語活動は必修とされ、早期からの外国語活動により児童のさらなる国際感覚を養うためにも、本事業は継続していく。						維持			